

7月5日（日）開催 第1回意見交換会（上野小）議事録について

開催日時：令和8年7月5日 10時～（1時間程度）

開催場所：上野小学校 体育館（豊中市上野東2-8-8）

意見の概要と市の返答

No.	意見の概要	市の返答
1	工事は「上野小学校」で過去に実績のある方法でしょうか。校舎を使いながらの建て替え（居ながら工事）は今回が初めてでしょうか。	過去に大池小学校、西丘小学校、第一中学校、第五中学校などで、居ながら工事の実績があります。
2	体育館は防災拠点・避難所となっていますが、工事期間中の避難所機能や地域防災組織（地域連絡会）・危機管理課との連携はどうなりますか。	体育館は、工事期間中も必ずいずれかが使用できる状態を維持する計画としており、避難所としての機能確保も踏まえています。地域の防災活動については、引き続き連携していきます。
3	工事車両（ダンプカー等）は約6年間通行する見込みですが、通行ルート・時間帯、道路の損傷対策、地盤強化、エレベーターの設置数はどうなりますか。	工事車両は主にバス通り（幹線道路）を利用する想定です。道路の傷みについては道路関係部局と調整し、補修時期を検討します。4階建てのため、地盤を調査し杭基礎等により建物を安定させます。エレベーターは1基設置しますが、2基目の設置については今後検討します。
4	工事に伴う家屋への影響について、事前・事後の調査は実施されますか。	工事の影響が想定される周辺住宅については、家屋の事前調査・事後調査を実施する予定です。

No.	意見の概要	市の返答
5	南側運動場いっぱいに校舎を建てる案以外（東側から順に建て替える「ローリング整備」など）は検討したのでしょうか。	検討はしましたが、既存の位置で順番に建て替える方法では、工期が現行案より数年程度長くなる見込みです。児童の学びへの影響を最小化する観点から、運動場に新校舎を建設する現行案としました。
6	これから先の学校づくりについて、児童・卒業生・保護者など当事者の意見をどのように反映していきますか。	今後、児童生徒・教職員・保護者・地域住民が参加するワークショップ形式の場を設け、新しい学校のあり方について意見を聞きながら検討していきます。
7	南側に居住する住民として、4階建て校舎による日照・圧迫感・風・地震等への影響が大きいと感じます。建物のセットバックや高さの抑制など配慮してほしいです。	今後、南側部分のセットバックや外壁形状の工夫（凹凸を設けて風の影響を抑える等）により、周辺住民への影響を緩和できないか検討し、結果を情報提供していきます。
8	敷地内の掘削により大量の土砂が発生しますが、処理・仮置き場所はどうなりますか。他の自治体（渋谷区）で建築差止め訴訟の事例もあり、丁寧な説明を求めます。	発生した土砂は基本的に場外へ搬出し、適切な処理場で処理します。場内に仮置きする土砂についても安全面に十分配慮し工事します。
9	敷地内にある遺跡や桜の木は今後どのように扱われますか。	遺跡については社会教育課との協議を進めています。桜の木は老木で倒木等の危険があるため基本的に伐採となる見込みですが、移植可能なものは移植を検討します。
10	プール解体後の水泳授業や、運動場代替として東豊台小学校を利用する場合の通学路の安全対策はどうしますか。	水泳授業は、近隣の公共・民間プール施設へバス等で移動して実施する想定です。東豊台小学校への移動については、歩道の有無を含めたルートを確認し、標識整備や誘導員配置などにより児童の安全を確保します。移動に伴う暑さ等の負担にも配慮します。

No.	意見の概要	市の返答
11	現在 1,200 人を超えるマンモス校ですが、将来的な児童数の増減を踏まえ、この規模のまま 80 年間維持する想定でしょうか。校区変更の可能性はありますか。	現在の児童推計では、今後数十年、大きな増減はなく横ばいで推移する見込みであり、現状の規模で整備を計画しています。将来的に児童数が大きく増減した場合は、施設規模や校区の見直しも視野に入れて検討し、その際は事前に地域へ情報提供します。
12	備品（机等）の入替え時期の優先順位や、居ながら工事で新たに生じる課題への対応はどうしますか。	教育委員会が学校任せにせず調整に入り、負担軽減の観点から前倒しでの備品入替えを優先順位をつけて検討します。工事の進行中に生じる新たな課題についても、学校と教育委員会が連携し、臨機応変に対応していきます。